

仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の実現に向けた

「3つの心構え」と「10の実践」

「仕事と生活の調和」は、企業にとっても大きなメリットがあります。一歩ずつまずははじめてみませんか。

◇3つの心構え

①本気!

「仕事と生活の調和の実現のために仕事を効率化して、労働時間を削減する!」という目標に向け、全員が本気で取り組む。

②前向き!

「やらされ感」ではなく、全員が納得した上で「仕事の効率化」に前向きに取り組む。納得できないことがあれば、一度立ち止まってみんなで話し合う。

③全員参加!

「自分だけは例外」を許さない。
「忙しい」を言い訳にしない。
すべての仕事で効率化に取り組む。

◇10の実践

- ①会議のムダとり 会議の目的やゴールを明確にする。参加メンバーや開催時間を見直す。必ず結論を出す。
- ②社内資料の削減 事前に社内資料の作成基準を明確にして、必要以上の資料の作成を抑制する。
- ③書類を整理整頓する キャビネットやデスクの整理整頓を行い、書類を探すための時間を削減する。
- ④標準化・マニュアル化 「人に仕事がつく」スタイルを改め、業務を可能な限り標準化・マニュアル化する。
- ⑤労働時間を適切に管理 上司は部下の仕事と労働時間を把握し、部下も仕事の進捗報告をしっかり行う。
- ⑥業務分担の適正化 業務の流れを分析した上で、業務分担の適正化を図る。
- ⑦担当以外の業務を知る 周りの人が担当している業務を知り、業務負荷が高いときに助け合える環境をつくる。
- ⑧スケジュールの共有化 時間管理ツールを用いてスケジュールの共有を図り、お互いの業務効率化に協力する。
- ⑨「がんばるタイム」の設定 自分の業務や職場内での議論、コミュニケーションに集中できる時間をつくる。
- ⑩仕事の効率化策の共有 研修などを開催して、効率的な仕事の進め方を共有する。

可能な社会
結婚や子育てに関する希望の実現などに向けて、暮らしの経済的基盤が確保できる。

②健康で豊かな生活のための時間が確保できる社会
家族や友人などとの充実した時間、自己啓発や地域活動への参加のための時間などを持てる豊かな生活ができる。

③多様な働き方・生き方が選べる社会
誰もが意欲と能力を持って様々な働き方や生き方に挑戦できる機会が提供されており、子育てや親の介護が必要な時期など状況に

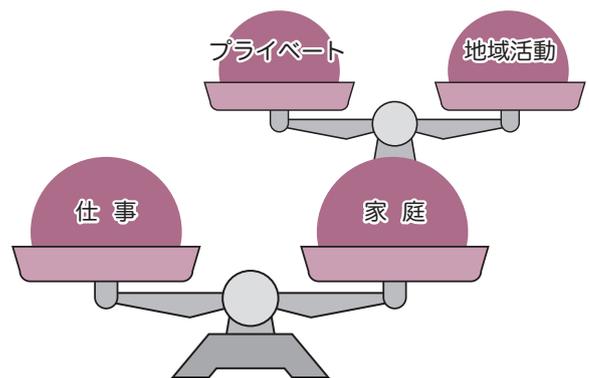
えられるとの試算があります。また、コスト面以外でも次のようなメリットがあります。

- ・ベテラン従業員が培った経験やノウハウの流出防止
- ・従業員の会社への定着度の向上
- ・従業員の心と体を害するリスクの軽減
- ・従業員のやる気の高まりによる生産性の向上 など

問合先

市民活動推進課
3513412

理想的な暮らしのバランス



男女共同参画社会の実現に向けた方向性を示した「男女共同参画基本計画」